

(令和7年度予算分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 千葉県南房総市
本事業の担当部局名 市民生活部市民課

事業メニュー		結婚・妊娠・出産・子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分		重点メニュー					
関連事業メニュー		3.2.3 育児休業取得と家事・育児分担の促進					
個別事業名		仕事と家事・育児等の両立支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続
実施期間		令和8年4月1日		～	令和9年3月31日		事業開始年度 令和7年度
総事業費(A)(円)		161,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円) 161,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		161,000					
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	137,500	18,500	0	5,000
	対象経費支出予定額	0	0	137,500	18,500	0	5,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	負担金	補助金		計
	総事業費	0	0	0	0		161,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	0		161,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 南房総市では、人口の将来展望をまとめた「南房総市人口ビジョン」を踏まえ、平成27年度に「第1期南房総市総合戦略」を策定し、「子育て世代の増加」をコンセプトに、令和2年度策定の「第2期南房総市総合戦略」においても踏襲し、推進している。しかしながら、出生数は平成26年度の208人から令和6年度には68人と3分の1に減少するなど、少子化は着実に進行している危機的な状況である。 <本個別事業の位置付け> 仕事と家事・育児等の両立を支援するための講座を開催するもの。				
個別事業の内容	番号	項目	内容				
	1	仕事と家事・育児等の両立支援講座の開催	(目的)いわゆる「男性中心型労働慣行」や「固定的性別役割分担意識」を背景に、家庭的責任の多くを女性が担っており、思うように働くことができないのが現状である。 また、市民意識調査結果(2023)では、男女が共に仕事と家事・育児等の両立に必要な環境整備として、「家族など周囲の理解と協力があること」、「男女が共に家庭的責任を負うという意識改革」が上位となっている。 そこで、誰もが経済的自立や自己実現のため、仕事と家事・育児等両方に主体的に関われる一助となるよう、当講座において環境整備の方法や意識改革の重要性を紹介する。 (参加対象者)育休中又は取得を考えている男性、小学生までの子どもがいる夫婦とその家族(夫婦どちらか一方でも参加可能)。子どもも参加可能(保育サービスあり) (講座内容) ○第1回 家事・育児シェア講座(講義・ワークショップ)(募集人数 20名程度) 家事シェア研究家によるパパが家事・育児をすることによる科学的メリットの紹介、育休の取得方法・過ごし方、夫婦が家事育児をどうシェアするかのコミュニケーション方法等の講座を開催する。 ○第2回 子育てパパ料理教室(セミナー・試作)(募集人数 10名程度) 子ども料理研究家による楽しく気軽にパパが育児・家事の参加について学ぶセミナーと簡単な料理試作の2部制。家族に料理を作ってあげたいけれど、ハードルを感じているパパに、簡単で作ってみたい料理等を学んでもらう。				

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞

- ・令和7年度は、第1回目の参加者が講義に熱心で、一緒に参加した子どもまで目を配れないことがわかったので、第2回は急遽保育サービスを導入した。
- ・家事シェア講座（第1回）アンケート結果によると、非常に講座についての満足度が高かった。それは他家族とのコミュニケーションの時間が多かったことも要因の一つと思われた。
- ・第2回目の模様替え講座では、参加者の参加前の興味は高かったものの、講義では、まずは模様替えの基礎についての説明があったためか、もっと子育て世帯に特化した模様替えの知識を学びたかったとの回答があった。

→令和8年度も同講師に依頼し、他家族とのコミュニケーションの時間を多くとってもらうとともに、家事シェア講座の中に、子育てに特化した模様替えについても触れてもらいたいと思っている。

・併せて、来年度以降に参加したいセミナーを同参加者アンケートにて聞いたところ、「子どもの食事メニュー」、「家族とのクッキング」、「料理教室」等との意見が見られたので、これを反映することとした。

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.34 (令和9年)	1.13 (令和4年)
	婚活支援事業への参加者数(8年間累計)		人	300 (令和9年)	40人 (令和5年)
	子育てアンケート満足度		%	63.0 (令和9年)	52.9 (平成30年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.05 (令和5年)	
	婚姻件数		件	55 (令和5年)	
	婚姻率			1.6 (令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	セミナー参加人数	人	30 (R8年度)	64 (R7年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R8年度)	97.5 (R7年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				